

病理部

Laboratory of Anatomic Pathology

部長(併)	井村 穰二	Johji Imura
主任臨床検査技師	小椋 恵利	Eri Kokaji
臨床検査技師	浜田 桂司	Keishi Hamada
臨床検査技師	清水 晃汰	Kota Shimizu
臨床検査技師	摂津 黎	Rei Settsu
臨床検査技師	木屋千恵子	Chieko Kiya

◆ 原著

- 1) Palikhe S, Ohashi W, Sakamoto T, Hattori K, Kawakami M, Andoh T, Yamazaki H, Hattori Y. Regulatory role of GRK2 in the TLR signaling-mediated iNOS induction pathway in microglial cells. *Front. Pharmacol.* 2019; 4(10): 59. doi: 10.3389/fphar.2019.00059.
- 2) Sakuraoka Y, Kubota K, Imura J, Yamagishi H, Aoki T, Matsumoto T, Arakawa T, Suzuki T, Tanaka G, Shimizu T, Tago K, Park KH, Shiraki T, Mori S, Iso Y, Kato M. Microsatellite Analysis of Recurrent Lesions Confirms Merit of Anatomical Liver Resection for Hepatocellular Carcinoma. *Anticancer Res.* 2019; 39: 4315-4324.
- 3) Hayakawa C, Hoshikawa M, Imura J, Ueno T, Koike J. Bile cytology: A new scoring system for improving diagnostic accuracy. *Diagn Cytopathol.* 2019; 47: 641-647.
- 4) Nunomura S, Ejiri N, Kitajima M, Nanri Y, Arima K, Mitamura Y, Yoshihara T, Fujii K, Takao K, Imura J, Fehling HJ, Izuhara K, Kitajima I. Establishment of a Mouse Model of Atopic Dermatitis by Deleting *Ikk2* in Dermal Fibroblasts. *J Invest Dermatol.* 2019; 139: 1274-1283.

◆ 症例報告

- 1) Yunoki T, Hirano T, Tabuchi Y, Furusawa Y, Torigoe M, Nakajima T, Imura J, Hayashi A. CDKN2A, CDK1, and CCNE1 overexpression in sebaceous gland carcinoma of eyelid. *Int Ophthalmol.* 2019; doi: 10.1007/s10792-019-01185-7.
- 2) Nakajima T, Hatta H, Nishida T, Minamisaka T, Miwa S, Terahata S, Imura J. Superficial spread of cervical squamous cell carcinoma to the upper genital tract and dissemination to the omentum. *Pathol Int.* 2019; 69: 119-121.
- 3) Nakajima T, Nomoto K, Kokaji E, Imura J. The reoccurrence of endometrioid carcinoma arising from endometriosis of the rectum 7 years after a vaginal endometrioid carcinoma arising from endometriosis. *Hum Pathol Case Report.* 2019 Mar; 15: 41-43. doi: doi.org/10.1016/j.ehpc.
- 4) Yunoki T, Hirano T, Tabuchi Y, Furusawa Y, Torigoe M, Nakajima T, Imura J, Hayashi A. CDKN2A, CDK1, and CCNE1 overexpression in sebaceous gland carcinoma of eyelid. *Int Ophthalmol.* 2019 Sep 30; doi: 10.1007/s10792-019-01185-7.

◆ 総説

- 1) 井村 穰二. 病理検査報告書未読・未説明問題に関わる対策. *病理と臨床.* 2019; 37: 784-787.

◆ 学会報告

- 1) 中嶋隆彦, 西田健志, 八田秀樹, 川口真一, 南坂尚, 井村穰二. Common Variable Immunodeficiencyを背景に遷延化したジアルジア症の一例. 第108回日本病理学会総会; 2019 May 9-11; 東京. (ポスター).
- 2) 野口映, 高木康司, 田中真一, 南坂尚, 中嶋隆彦, 井村穰二. エピジェネティック変化に着目したセツキシマブ感受性因子の探索. 第108回日本病理学会総会; 2019 May 9-11; 東京. (ポスター).
- 3) 南坂尚*, 下村明子, 八田秀樹, 西田健志, 川口真一, 中嶋隆彦, 井村穰二. 高浸潤性を有する肺ヒト腺癌細胞株の樹立. 第108回日本病理学会総会; 2019 May 9-11; 東京. (ポスター).
- 4) 高木康司*, 下村明子, 川口真一, 南坂尚, 野口映, 中嶋隆彦, 西田健志, 八田秀樹, 井村穰二. 膀胱癌における浸潤性を制御する分子機構でのInterleukin-32の重要性. 第108回日本病理学会総会; 2019 May 9-11; 東京. (ポスター).
- 5) 川口真一*, 下村明子, 八田秀樹, 西田健志, 南坂尚, 中嶋隆彦, 井村穰二. 膀胱癌細胞における浸潤能の責

任遺伝子の検討. 第108回日本病理学会総会 ; 2019 May 9-11 ; 東京. (ポスター).

- 6) 目時 珠穂**, 下村 明子, 松代 祐来, 森下 彰友, 石川 翔太郎, 高木 康司, 川口 真一, 野口 映, 中嶋 隆彦, 井村 穰二. 高浸潤性膵癌細胞の樹立と運動性に関する形態学的観察ならびに関与する因子の同定. 第108回日本病理学会総会 ; 2019 May 9-11 ; 東京. (ポスター).
- 7) 森下 彰友**, 石川 翔太郎, 目時 珠穂, 高木 康司, 川口 真一, 南坂 尚, 野口 映, 中嶋 隆彦, 下村 明子, 井村 穰二. 肺癌におけるgalactosylceramide sulfotransferaseの発現とその意義に関する病理学的研究. 第108回日本病理学会総会 ; 2019 May 9-11 ; 東京. (ポスター).
- 8) 石川 翔太郎**, 森下 彰友, 目時 珠穂, 高木 康司, 川口 真一, 南坂 尚, 野口 映, 中嶋 隆彦, 関谷 政雄, 井村 穰二. 虫垂突起に鋸歯状病変を背景として発生した腺癌の一例. 第108回日本病理学会総会 ; 2019 May 9-11 ; 東京. (ポスター).
- 9) 井村 穰二, 小梶 恵利, 木屋 千恵子, 摂津 黎, 清水 晃汰, 浜田 桂司, 野口 映, 中嶋 隆彦. コンパニオン診断の未来 病理・細胞診業務におけるコンパニオン診断における現状と課題. 第60回日本臨床細胞学会総会 ; 2019 Jun 7-9 ; 東京. (ポスター).
- 10) 小梶 恵利, 井村 穰二. がん選択的蛍光プローブを用いた膵臓EUS-FNAの検体採取率向上に向けた取り組み. 第60回日本臨床細胞学会総会 ; 2019 Jun 7-9 ; 東京. (ポスター).
- 11) 折田 恵, 中島 悠樹, 田近 洋介, 井村 穰二. 腹腔内に発生した大細胞神経内分泌癌の1例. 第60回日本臨床細胞学会総会 ; 2019 Jun 7-9 ; 東京. (ポスター).
- 12) 摂津 黎, 小梶 恵利, 木屋 千恵子, 濱島 丈, 井村 穰二. 細胞診を契機に発見されたSEICの1例. 第60回日本臨床細胞学会総会 ; 2019 Jun 7-9 ; 東京. (ポスター).
- 13) 早川 智絵, 千川 晶弘, 井村 穰二, 佐藤 克洋, 宇杉 美由紀, 半田 留美子, 上野 隆彦, 小池 淳樹. 胆汁細胞診にみられる腺癌細胞と良性細胞の鑑別. 第60回日本臨床細胞学会総会 ; 2019 Jun 7-9 ; 東京. (ポスター).
- 14) 井村 穰二, 高木 康司, 野口 映, 下村 明子, 田中 真一, 南坂 尚, 中嶋 隆彦. Interleukin-32 controls the invasiveness of pancreatic cancer. 第78回日本癌学会総会 ; 2019 Sep 26-28 ; 京都. (ポスター).
- 15) Akira Noguchi, Kohji Takagi, Shinichi Tanaka, Takashi Minamisaka, Takahiko Nakajima, Johji Imura. Evaluating the effectiveness of combination therapies with cetuximab and HDACi for HNSCC. 第78回日本癌学会学術総会 ; 2019 Sep 26-28 ; 京都. (ポスター).
- 16) 住吉 紗代子**, 高木 康司, 下村 明子, 目時 珠穂, 田中 真一, 南坂 尚, 野口 映, 中嶋 隆彦, 井村 穰二. 膵癌における浸潤性を制御するInterleukin-32およびその他の分子の関連性. 第65回日本病理学会総会秋期 ; 2019 Nov 7-8 ; 筑波. (ポスター).
- 17) 野口 映, 高木 康司, 田中 真一, 南坂 尚, 中嶋 隆彦, 井村 穰二. HNSCCにおけるセツキシマブとHDAC阻害剤併用療法の有用性の検討. 第66回日本病理学会総会秋期 ; 2019 Nov 7-8 ; 筑波. (ポスター).
- 18) 小梶 恵利, 井村 穰二. がん選択的蛍光プローブを用いた膵臓EUS-FNAの判定向上に向けた取り組み. 第66回日本臨床検査医学会学術集会 ; 2019 Nov 21-24 ; 岡山. (ポスター).
- 19) 清水 晃汰, 小梶 恵利, 摂津 黎, 浜田 桂司, 木屋 千恵子, 井村 穰二. がん選択的蛍光プローブを用いた膵臓EUS-FNAでの腫瘍細胞採取率向上に向けた取り組み. 第58回日本臨床細胞学会秋期大会 ; 2019 Nov 21-24 ; 岡山. (ポスター).

◆ その他

- 1) 井村穰二. “イタイイタイ病資料室”の開設と共にこれまで保存されてきた患者剖検例を用いた新たな病理学的研究. 第2回神通川清流環境賞 報告会 ; 2019 Feb 23 ; 埼玉.
- 2) 井村穰二. イタイイタイ病患者剖検例におけるカドミウム暴露に起因した臓器障害の病理学的研究-腎臓における脈管系の異常に関する病理学的研究-. 環境省:イタイイタイ病研究成果発表会 ; 2019 Dec 29 ; 東京.